

飛騨市 地域おこし協力隊を 紹介します!



市では今年度3名の地域おこし協力隊に委嘱し、プロジェクトを推進しています。

今回は「山中和紙振興プロジェクト」に従事している小柳津仁さんを紹介합니다。



さんちゅう

山中和紙を 日本で一番大事にしたい紙にする

おやいづ

ひとし

小柳津 仁さん

出身地：愛知県新城市

委嘱日：令和6年5月1日

▶協力隊に応募したきっかけは？

2011年春に高山市に移住して、初めて山中和紙を知りました。

故・柏木一枝さんに出会い、一枝さんの人間性と職人としての姿、河合町の自然などに魅了され、何度も河合町に通うようになりました。和紙を購入するわけではないですが、一枝さんとコーヒーを飲んで談笑することもありました。

実家のある愛知に戻ってからも、山中和紙のことが忘れられなくなっていました。

その後、作家として和紙を使ったキッズメジャーを制作するようになり、この作家活動と並行して山中和紙に携われる仕事ができないかと考え、飛騨市の協力隊として応募しました。

▶活動内容は？

新規販路開拓・生産工程の改善・山中和紙の魅力を伝える

●山中和紙を通して飛騨市の魅力を伝える

山中和紙を使ったワークショップなどで山中和紙の魅力を伝えています。

飛騨市はさまざまな魅力がありますが、その多くが和紙の制作につながっていると思います。

和紙の制作を説明することで飛騨市の風土・伝統・自然・環境・暮らしの魅力を説明することができます。和紙職人の技に注目されがちですが、技と産地の魅力も伝えたいと思っています。

●山中和紙職人が紙漉きに集中できるように補助する

職人さんが紙を漉くことに集中できるような環境を作ることが仕事です。

和紙と言えば紙を漉くことにフォーカスされがちですが、和紙の原料を用意する行程が大変なので、生産工程を改善し円滑にできるようにサポートしています。

▶今後の展望を教えてください

「山中和紙を日本で一番大事にしたい紙にすること」です。

そのために、より多くの方に山中和紙の魅力を伝え、共感して支えていただける人を増やしていきたいです。

地域おこし協力隊とは？

都市地域から過疎地域に移住し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住を図る取り組みです。

問 ふるさと応援課 ☎ 0577-62-8904



山中和紙蜜蝋ラップづくり
ワークショップの様子